

□ 要請番号 (JL25117B15)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パナマ	G159 数学教育		個別	交替 2代目	2年	・ 2018/1 ・ 2018/2 ・ 2018/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ベアトリス・ミランダ・デ・カバル中高等学校(中学部)

3) 任地 (チリキ県ドレガ) JICA事務所の所在地 (パナマ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 8.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

パナマではすべての公立学校を教育省が所轄しており、各県に地域事務所をもって教育行政を掌っている。配属先であるベアトリス・ミランダ・デ・カバル中高等学校は、1972年創立、生徒数2100名、教員数110名の学校である。高等部は、科学、商業、経理、電気の4コースがあるが、ボランティアは、中学部で数学を担当する。年間予算は84000ドル(教員給与を除く)。JICAでは、パナマ国内のいくつかの学校に、算数・数学教育、理科教育、環境教育のボランティアを派遣しているところである。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

パナマの数学レベルは低く、OECD(経済協力開発機構)生徒の学習到達調査(2009)で65か国中64位、数学オリンピック(2015)で104か国中99位になるなど、教育省にとって数学能力向上は重要な課題となっている。生徒の多くは数学に苦手意識を持っており、興味・関心を引き出す授業内容、指導法が必要となっている。このようなことから、日本の教育方法をいくつかのパイロット校で実践・普及しており、この学校にも2017年3月までボランティアが派遣されていた。前任のボランティアは、各教員の指導法の改善だけでなく、教員同士で学びあうこと、生徒同士で学びあうことも改善策のひとつとして取り入れている。このような活動の成果を、学校全体の数学指導力向上に結びつけるためには、後任ボランティアの派遣が必要と考えられたことから要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

以下のような内容を中心に、教員及び生徒を対象とした活動を行う。

1. カウンターパートとともに数学の授業・実験を行い、授業手法等についての助言・支援を行う。
2. 教員対象の研修会やセミナーを企画・実施する。
3. 授業観察、研修会のモニタリングを行い、授業の質の向上を支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

数学演習室、教室、机など

4) 配属先同僚及び活動対象者

カウンターパートは11年経験の数学教員、大卒、30代半ばの男性。
上司である校長は、40年経験、修士、60歳の男性。

対象生徒は、日本の中学校1-3年に相当するいずれかの学年の生徒。

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
スペイン語	スペイン語	

【資格条件等】

[免許]：（中学校又は高等学校教諭（数学））	[学歴]：（ ） 備考：
[性別]：（ ） 備考：	[経験]：（教員経験）2年以上 備考：経験に基づいた指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（25～35℃位）	[電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可）	[水道]：（安定）

【特記事項】